

# SIFA ニュース



NO. 103

2019年度 冬号

(公財) 鈴鹿国際交流協会

## 内容

### 【案内】

- わいわい春まつり
- 国際理解セミナー
- 日本語教育基本法を学ぼう
- やさしい日本語で話そう

### 【報告】

- コトバわたし未来ワークショップ
- 30周年記念式典
- 多言語災害ボランティア
- 冬休みの宿題支援教室

## わいわい春まつりの 前日・当日ボランティアを募集します

4月19日(日)10:00~15:30、ハンター&弁天山公園にてわいわい春まつり2020を開催します。楽しく素敵なお祭りをみんなで作ってみませんか。



準備、飾りつけのお手伝い



民族衣装を着て 募金活動

予定 4月11日(土) ボランティア説明会

18日(土) 前日準備、19日(日) 当日準備と片付け

※学生さんには、ボランティア証明書を発行します。

※ボランティアの申し込み、お問い合わせは、SIFAへ。

## 国際理解セミナー「フランス貴族の暮らし」

貴族の末裔として育った青年が、両親の猛反対の中、フランスから日本へ飛び出して2年。名家ならではの悩み、厳しすぎる家庭教育、マナー、元貴族の生活圏、結婚観などについて語ります。

貴族の暮らしの中には、人生を豊かに生きるヒントがたくさんあります。

当日は、講師お手製のパウンドケーキも食べられるかも！？どうぞお楽しみに！

と き : 2月22日(土) 13時半~15時半

と ころ : 牧田コミュニティセンター 2階ホール

内 容 : 講演・アコーディオン演奏他

講 師 : ウィリアム ヴェドリヌ (フランス リヨン出身)

定 員 : 40名 (先着順)

参加料 : 無料

申込み : はがき・FAX・E-mailにて、郵便番号・住所・氏名・電話番号をご記入の上協会

(〒513-0801 神戸1-17-5 近鉄ビル3階) まで



# 日本語教育推進法を学ぼう♪

昨年6月に議員立法により可決された日本語教育推進法。外国人の在留資格に「特定技能」が新設された後でしたので、今後の地域での多文化共生に大なり小なり影響がありそうです。

今回、立法に深く携わられた衆院議員の中川 正春 氏（日本語教育推進議員連盟会長代行）に、この法律が成立するまでの経緯や今後の地域での多文化共生施策への反映、各機関の役割等についてお話しいたします。

国の施策から見える地方の多文化共生について、一緒に考えてみませんか。

と き： 2月2日（日） 13:30～15:00

ところ：ジェフリー鈴鹿 ホール（鈴鹿市神戸 2-15-18）

申込み：1月31日（金）までに、参加者の氏名・電話番号・所属団体名（なしでも可）を、電話・FAX・e-mailにより協会へ連絡してください。



会場 MAP



スマホ申込

## 「やさしい日本語」で話そう！

2019年は自然災害の多い年でした。そして、外国人に災害情報を提供する手段として「やさしい日本語」が特に注目されました。私たちも「やさしい日本語」のコツを身に付けて普段のコミュニケーションで使ってみましょう。

### 会話のポイント

- ①できるだけ短く簡単にする。
  - ②「わかりますか？」と会話の途中で確認する。
  - ③相手の表情や反応を見て話す。
  - ④ゆっくり、はっきり話す。
  - ⑤写真や図を活用する。
  - ⑥難しい単語や言い回しは使わない。
- ※理解していないと感じた時は、言いかえてみる。

### 言い換えの練習してみよう

- ①ご用件は何ですか？
  - ②頭がガンガンします。
  - ③できないことはない。
  - ④令和2年です。
  - ⑤お弁当を温めませんか？
- ✓このページの下に、言い換えの例があります。見てください。

## コトバわたし未来ワークショップ

12月7日（土）、牧田会館にて鈴鹿大学との共催で本年度3回目となるコトバ・わたし・未来ワークショップを開催しました。大学生が中心となり、司会やファシリテーターを担い、ゲームを通して少しずつお互いを知り合い、ワークショップで様々な意見を出し合いました。今回は、大学3年生の原川ミカエルさん（ブラジル）がこれまでの半生を動画にまとめて話題提供してくれました。小学生から大人まで様々な年齢・国籍の方が参加され、笑顔いっぱいの温かいワークショップになりました。

次年度も同様に、たくさん交流のできるワークショップを予定していますので、皆様のご参加をお待ちしています。



↑ワークショップの一コマ

# SIFA設立30周年記念式典開催

昨年12月1日、鈴鹿市文化会館にて鈴鹿国際交流協会設立30周年を記念して式典を行いました。

ボサノバ演奏後、理事長の挨拶に続き、長年国際交流・多文化共生にご尽力頂いた15団体とボランティアさん8名を表彰し、その後、受賞団体3組に活動紹介をして頂きました。

友好都市であるアメリカオハイオ州ベルフォンテン市の市長からも、お祝いメッセージが届き、会場のスクリーンでご紹介しました。

その後、会場のみなさんにも参加してもらって一緒にペルー音楽を楽しみました。



## 受賞者のみなさま（敬称略）

《団体の部》日本語教室—鈴鹿日本語会・桜島日本語教室・牧田いろは教室

学習支援教室—ワールドキッズ

母語教室—エスコリーニャ ジラソウ・エスクエリータ ヒラソル・モンゴル母語教室

活動団体—鈴とも・ファンファンサロン・牧田地区地域づくり協議会・MIFILCO・鈴鹿大学

NPO 法人 愛伝舎・(一社) 鈴鹿青年会議所・(株)鈴鹿山麓夢工房

《個人の部》平井憲章・栗木健一・竹内静江・中川久美子・木村政雄・中世古高伸・林マリア アリセ マチコ

野田ラッチャダー

後半では、イギリス出身のダイアン吉日さんをお招きし、英語落語と講演をして頂きました。



英語落語は、とても分かりやすく、会場からは、英語で色々な掛け声もかかり、会場全体がひとつになって、とても盛り上がりました。

落ちもしっかり理解でき、大変面白かったです。

講演会は、「笑いで世界をひとつに」をテーマに、「夢を持つ」ことの大切さと、最後は「笑い」を生活の中に取り入れ、心も体も元気になるろう！と呼びかけて会場のみなさんと明るくワッハハ！と笑ってお開きとなりました。



# SIFA設立30周年パネル展 開催

鈴鹿国際交流協会設立30周年を記念して、本協会や国際交流・多文化共生に取り組む関係団体の取組をパネルで紹介します。

開催日：2月25日(火)～3月1日(日)

平日・土曜日は、8:30～17:00、日曜日は8:30～13:00

\*2月25日(火)は、準備のため12:00から

場 所：鈴鹿市役所本館 1F 市民ギャラリー

内 容：本協会や関係団体の事業についてのパネル展示。30周年記念式典のパネル展示。



# 多言語災害ボランティア

## ★鈴鹿市総合防災訓練への参加

9月30日に石薬師の消防学校にて行われた市の防災訓練に、被災者役・支援者役として参加しました。避難所での受入体験や、疾病者のトリアージなど日本人の一般参加者にとっても外国人の受入について考えさせられるところがありました。例えば、ニーズの聞き取り時には、「身内の遺体を本国に送りたいけどどうすればよいか」といった質問が出ました。

## ★長野市千曲川決壊現場でのボランティア活動

市内のスリランカグループ（JUF）の皆さん9名が長野市へ災害ボランティアに行くというのでSIFAの川出が11月3日現地で合流し一緒に汗を流してきました。現地に行って驚いたのは、鈴鹿以外に横浜や安城等からもスリランカの方が30名ほどボランティアに来ていたことです。すごくパワフルで災害ごみの山があつという間に分別することができました。

外国人の災害ボランティア受け入れについては、自然災害の多発や高齢化が進む日本社会では今後検討していかなければなりません。ボランティアセンターでの情報の多言語化や宗教の配慮ができるとさらに多くの方が参加してもらえる可能性があると感じました。鈴鹿市社会福祉協議会とも連携し受け入れについて検討してまいります。

## ★多言語災害ボランティア研修(基礎編)

12月8日(日)にジェフリー鈴鹿にて開催しました。

英語・中国語・スペイン語・フランス語のできる8名の方が参加されました。研修では、市内の在住外国人の状況や本年度の取り組みを説明しました。また、災害時の活動内容や連携機関などについても情報共有しました。今後、さらに多くの方の支援を得ながら体制づくりに努め、いざという時に備えたいと思います。



# 冬休みの宿題支援教室を開催しました

夏休みに外国籍児童対象の宿題支援講座を開催した際、子どもたちから「冬休みもしてほしい」との声があったため、飯野小学校の教室をお借りして、12月24、25、26日、1月6日の4日間宿題支援を行いました。

夏休みに参加した子どもたちに加え、飯野小学校の児童も参加し、連日20名程度の教室になりました。

12月26日に年末年始はお家で頑張ってお勉強することを約束したところ、1月6日の最終日には、きちんと終わらせた子が多かったため、最後にお楽しみとして折り紙でお相撲さんを折ってとんとん相撲大会をしました。

子どもたちを見ていると、夏休み時に比べて学習の習慣がついてきて、意欲をもって取り組める子が増えてきていると感じました。一方で、足し算・引き算・掛け算の定着がまだまだの子もいましたので、家庭での取り組みについて、親御さんへもっと伝える必要があると感じました。

最終日、子どもたちからは、「友達と会って楽しく勉強できた」「お家では丸付けはしてもらえないけどここだと見てもらった」「最後まで頑張れた」など前向きな意見が出てきて、手ごたえを肌で感じました。

事業を通して見えてきた課題については、今後、市教委や学校等と共有し、さらに発展させていければと考えています。



公益財団法人鈴鹿国際交流協会 (SIFA)

〒513-0801 鈴鹿市神戸 1-17-5 別館第3

TEL : 059-383-0724 FAX : 059-383-0639 ✉ sifa@mecha.ne.jp URL : <http://www.sifa.suzuka.mie.jp>